



▲各区の色でカラーリングされた「青色防犯パトロール車」の導入は、全国に先駆けた取り組みです。

電気自動車が、
やってきた!!

出発進行!! 環境にやさしい

“未来のまち”へ

見つめよう
こねかから
korekaraの
まちづくり

安心・快適なEVライフの実現へ

お出かけ先で充電



商業施設などでは、急速充電のほか、やがては車を停めるだけで充電できる非接触型充電も可能に!!

家庭での充電



家に帰って、電気料金のおトクな夜間に充電OK! ガソリンスタンドに行く手間がかかりません。

EVカーシェアリング



複数の家庭や企業でEVを共同使用することで、地域の車両台数が減り、交通渋滞の緩和につながります。

カーナビなどで充電スポット案内



カーナビを使って、近隣の充電施設の位置や、電池残量で走行可能な範囲を表示できます。

桜色、緑色、黄色などのカラフルなボディに「つながる竜ヌウ」が描かれた丸っこい形の車。みなさんは、このかわいい車が走っている姿を見たことがありますか? これは、エンジンの代わりに電気モーターで走る電気自動車(以下EV)で、平成22年1月、すべての区役所に1台ずつ導入された「青色防犯パトロール車」です。各区の色を身にまとい、

子どもたちの下校時には、「ヌウの車だ!」と親しまれています。さいたま市では、低炭素社会の実現を目指すため、EVのさらなる普及を図る「E-KIZUNA Project」を進めています。充電設備の設置やEV購入の補助金制度創設、カーシェアリングの実験や小中学校でのEV教室による啓発など、EVを活用したまちづくりに、市

民・事業者・行政が連携、文字どおり「絆」を結び取り組んでいます。こうしたガソリン車からEVへの転換のほか、コミュニティサイクル社会実験や次世代交通に向けた産学官の共同研究など、新たな取り組みにより、環境にも人にもやさしいまちづくりを進めています。これからの世代につながる「未来のまち」の姿を、みなさんも思い描いてみませんか?

さいたま市のCO₂(二酸化炭素)排出量は、約3割が交通輸送によるもので、そのうちの7割弱が乗用車から出ていることをみなさんはご存知ですか? 「環境先進都市」を掲げるさいたま市では、乗用車からのCO₂を減らすため、電気自動車で安心・快適にどこでも行ける社会を目指し、新たな取り組みをスタートしています!



ケヤキ並木の増大通りを元よく走る、桜色で彩られた桜区の電気自動車。現在、「次世代自動車」といわれる電気自動車や天然ガス自動車、ハイブリッド自動車の市内の台数は約6000台。平成24年度には、倍の12000台の普及を目指しています。

問合せ
環境局 環境共生部
交通環境政策課
次世代自動車普及推進室
TEL 048-829-1457



▲8月21日、EVの普及を目的としたイベントが開催されました。会場では、EVの試乗会のほか、EVを活用した未来のまちづくりについて考えるワークショップも実施。参加者からはアイデアあふれるさまざまな意見が出されました。